

1 移動系通信

(1) 移動系通信（携帯電話・PHS・BWA）

- **携帯電話の契約数は1億5,289万（前期比+0.9%、前年同期比+5.1%）、移動系通信（携帯電話、PHS及びBWA。以下同じ。）の契約数は1億5,945万（前期比+0.8%、前年同期比+4.2%：単純合算では1億8,347万）となっている。**
- **3.9世代携帯電話（LTE）の契約数は7,905万（前期比+5.1%、前年同期比+40.7%）で、携帯電話の契約数に占める割合は51.7%（前期比+2.1ポイント、前年同期比+13.6ポイント）となっており、初めて5割を上回った。PHSの契約数は436万（前期比▲3.8%、前年同期比▲20.4%）、BWAの契約数は2,622万（前期比+15.9%、前年同期比+153.4%）となっている。**
- **移動系通信の契約数における事業者別シェア（グループ別）について、NTTドコモは43.0%（前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.0ポイント：単純合算では37.3%）、KDDIグループは28.8%（前期比±0ポイント、前年同期比+0.5ポイント：単純合算では31.5%）、ソフトバンクグループは28.2%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.5ポイント：単純合算では31.2%）となっている。**

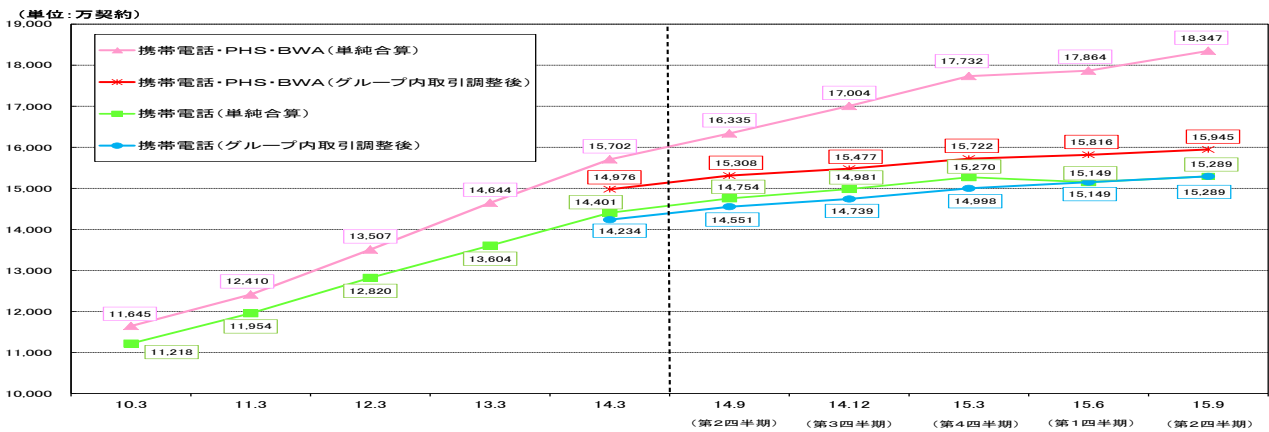
注1：数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計や、図表内の数値から計算される増減率と表示されている増減率等については一致しない場合もある。以下同じ。

注2：携帯電話及び移動系通信の契約数については、特段の記載がない限り、グループ内取引調整後の数値。

注3：2015年度第1四半期（6月末）以降においては、携帯電話サービス同士の事業者間のグループ内取引がなくなり、携帯電話の契約数については単純合算とグループ内取引調整後の数値は同数となっている。以下この「1 移動系通信」において同じ。

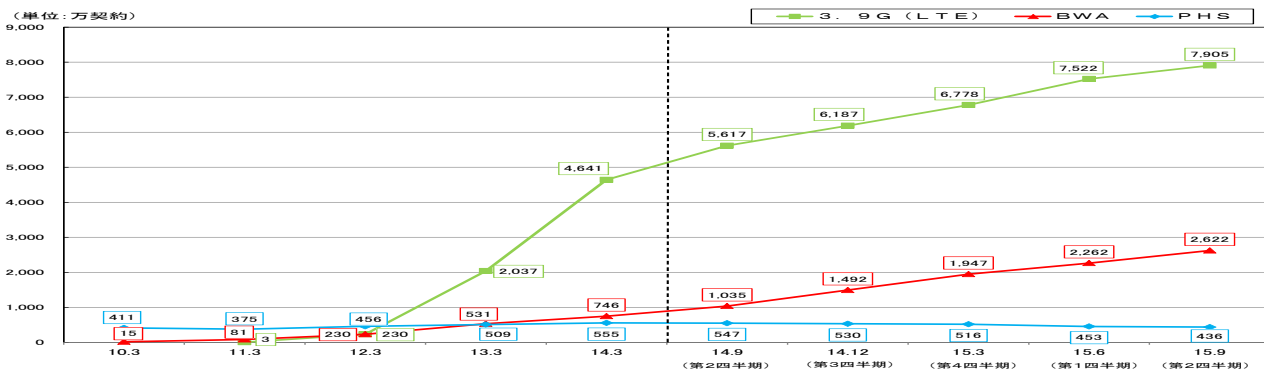
注4：2015年度第1四半期（6月末）の契約数等については、2015年4月1日付けのソフトバンクモバイル及びワイモバイル等の合併を反映した数値となっている。その後、同年7月1日付けでソフトバンクに社名変更している。以下この「1 移動系通信」において同じ。

移動系通信の契約数の推移



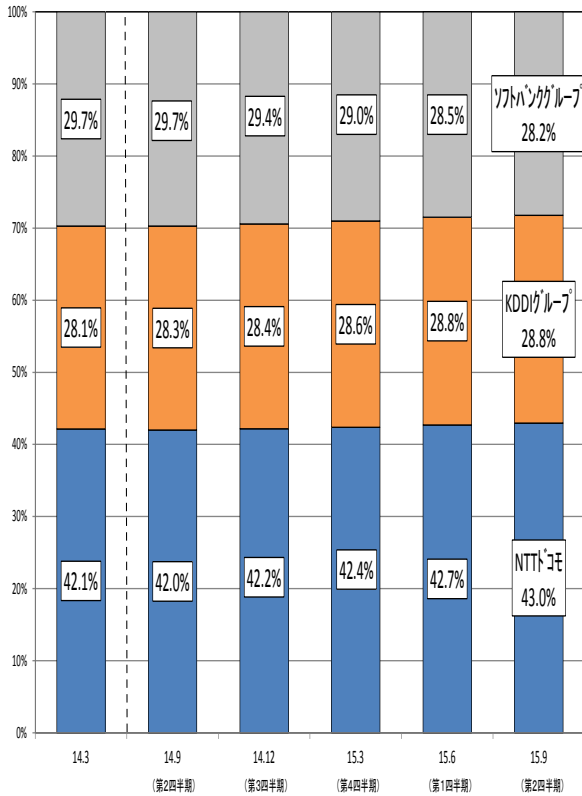
注：2011年3月末までは一般社団法人電気通信事業者協会資料による。

3.9G（LTE）・PHS・BWAの契約数の推移

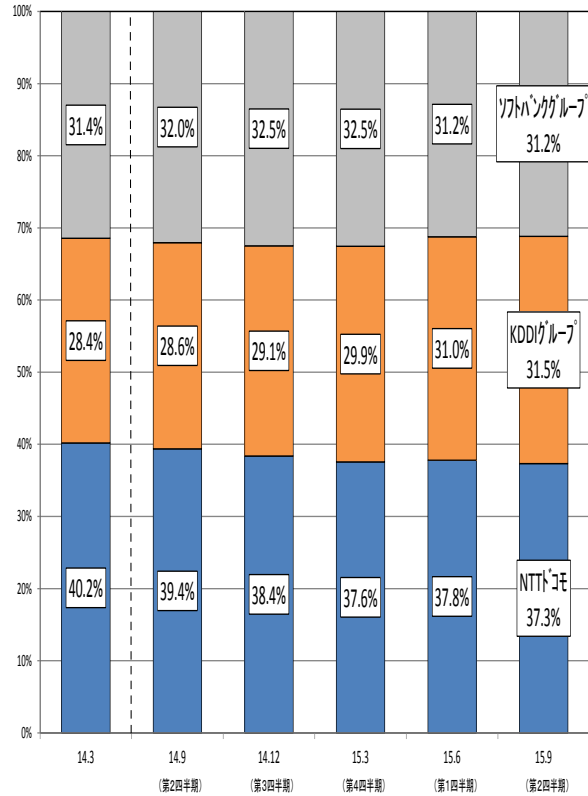


移動系通信の契約数における事業者別シェアの推移（グループ別）

【グループ内取引調整後】



【単純合算】



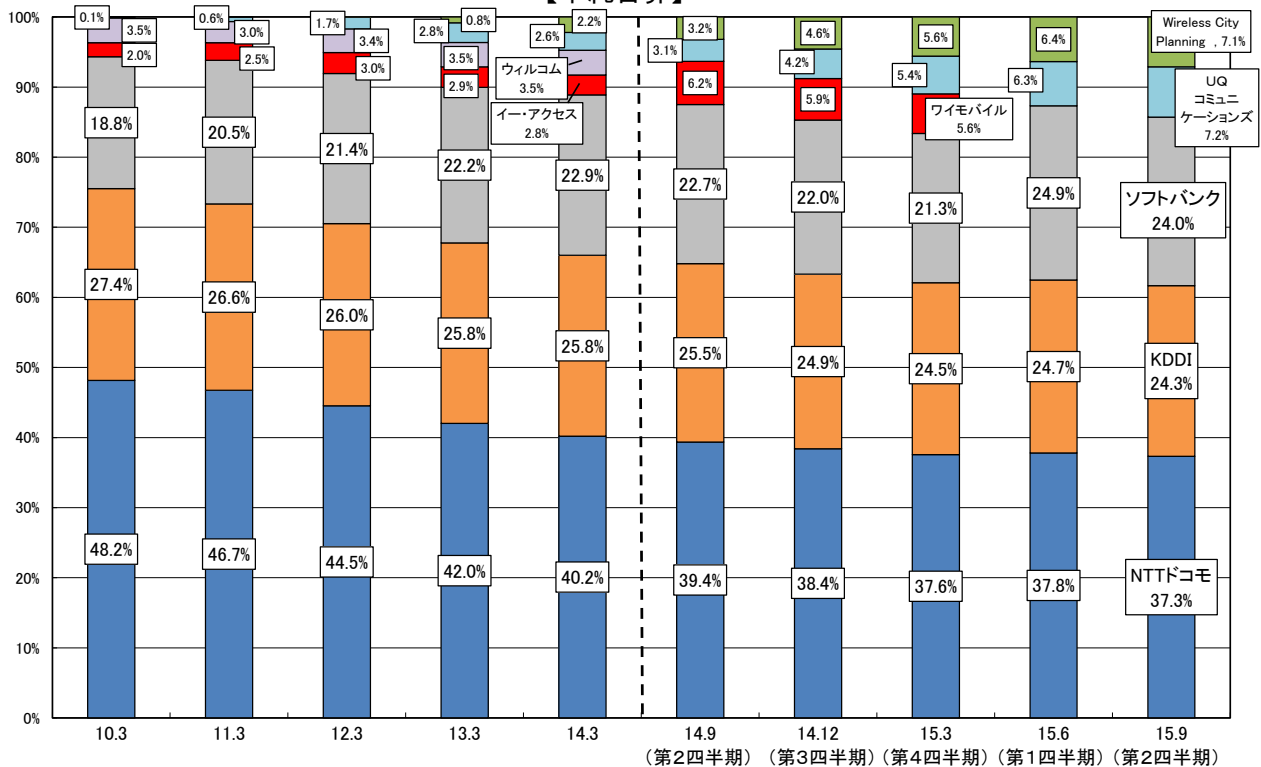
注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。以下同じ。

注2：KDDIグループのシェアには、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。

注3：ソフトバンクグループのシェアには、ソフトバンク及びWireless City Planningが含まれる。

移動系通信の契約数における事業者別シェアの推移（個社別）

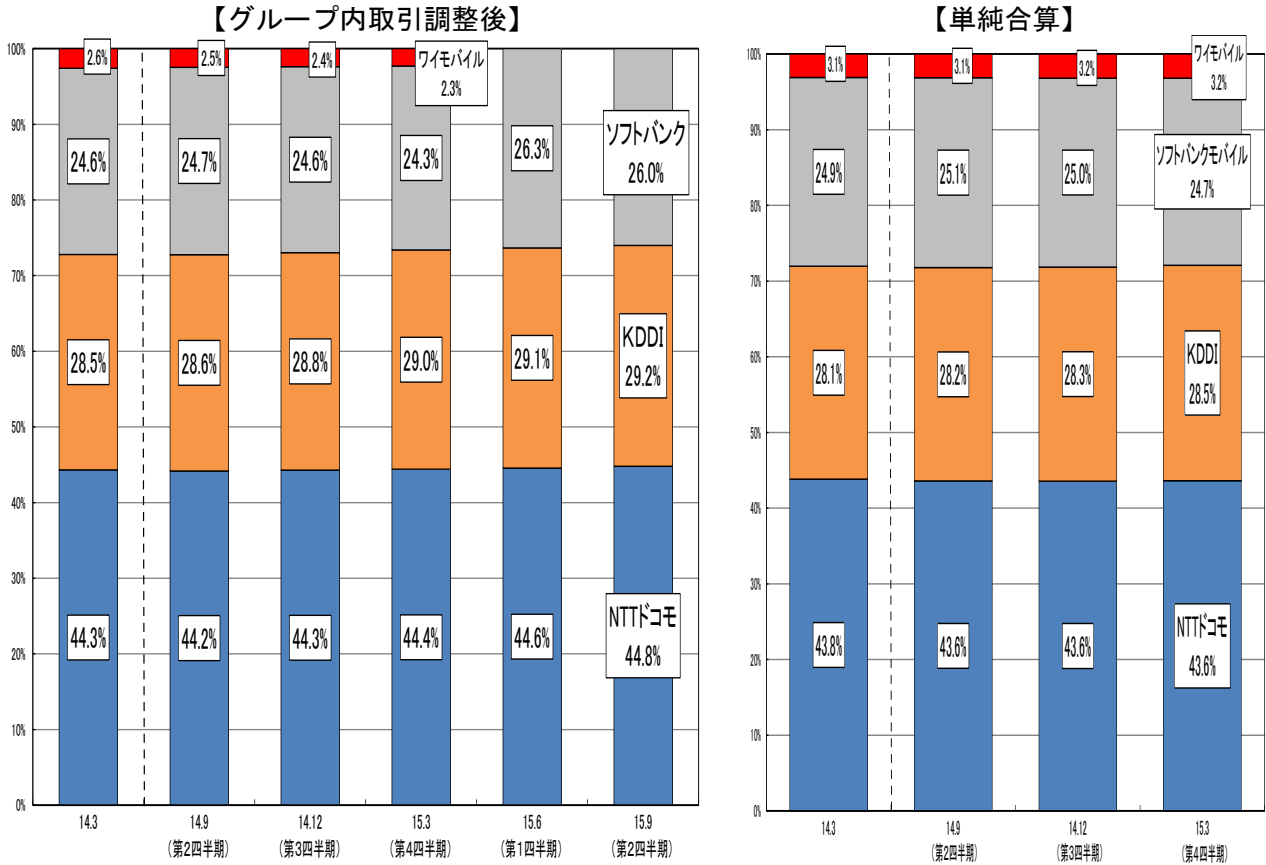
【単純合算】



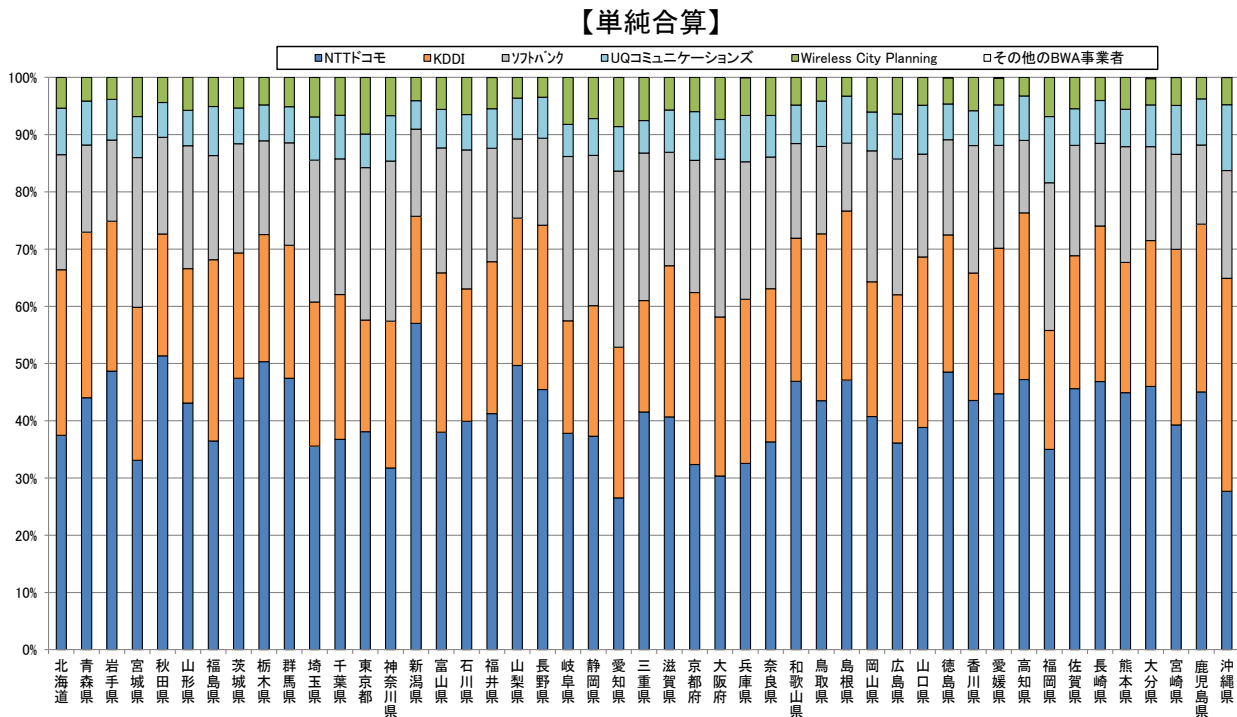
注1：KDDIのシェアには、沖縄セルラーが含まれる。

注2：イー・アクセスは2014年6月1日付けでウィルコムを吸収合併し、同年7月1日付けでワイモバイルに社名変更。その後、ソフトバンクモバイルは2015年4月1日付けでソフトバンクBB、ソフトバンクテレコム及びワイモバイルと合併し、同年7月1日付けでソフトバンクに社名変更。以下同じ。

携帯電話の契約数における事業者別シェアの推移



移動系通信の契約数における都道府県別事業者シェア



注：都道府県別のシェアについてはグラフのみ公表。

(2) MVNO

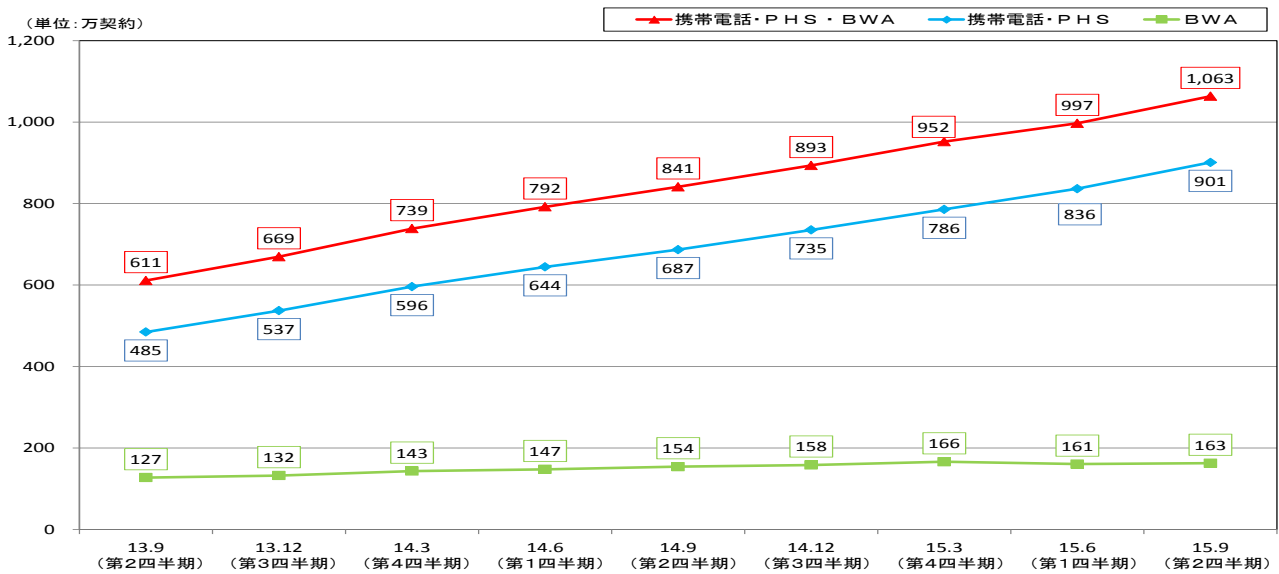
- MVNOサービスの契約数^{※1}（移動系通信の契約数の内数）は、1,063万（前期比+6.7%、前年同期比+26.4%）となっており、初めて1,000万を超えた。
- 移動系通信の契約数に占めるMVNOサービスの契約数^{※1}の比率は、6.7%（前期比+0.4ポイント、前年同期比+1.2ポイント）となっている。
- MVNOサービスの事業者数^{※2}はMNOであるMVNOを除くと199社（前期比+11社）となっている^{※3}。

※1：MNOであるMVNOの契約数を除いた数値。

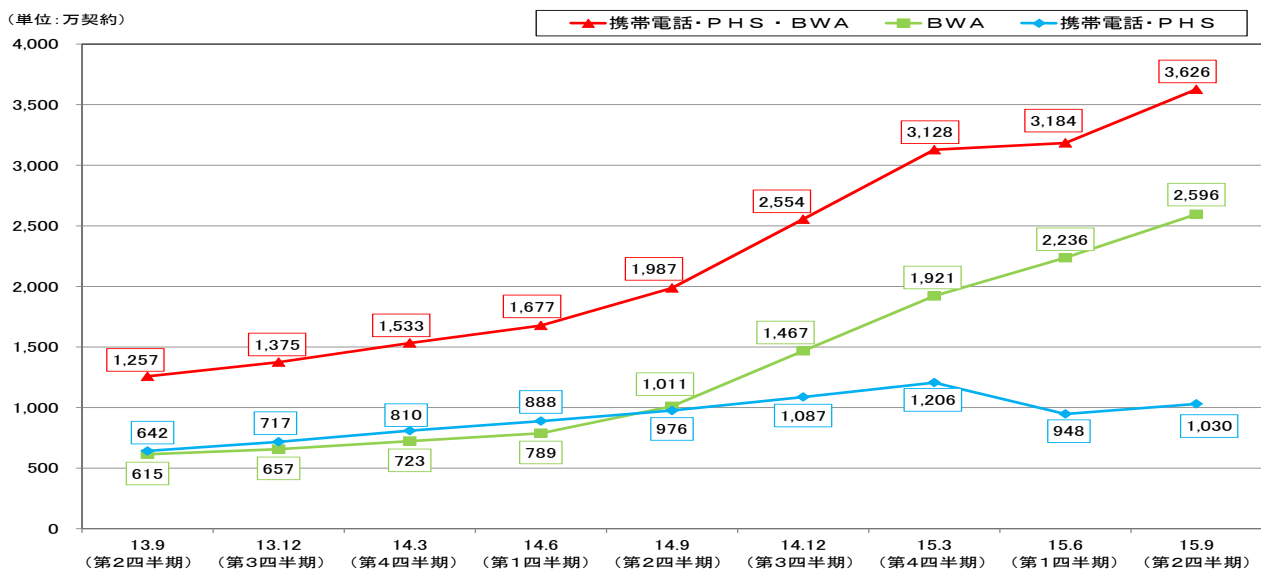
※2：MNOから直接回線の提供を受けるMVNOのみを対象としており、MVNOのみから回線の提供を受けるMVNOは含まれていない。

※3：MNOであるMVNOを含めると203社。

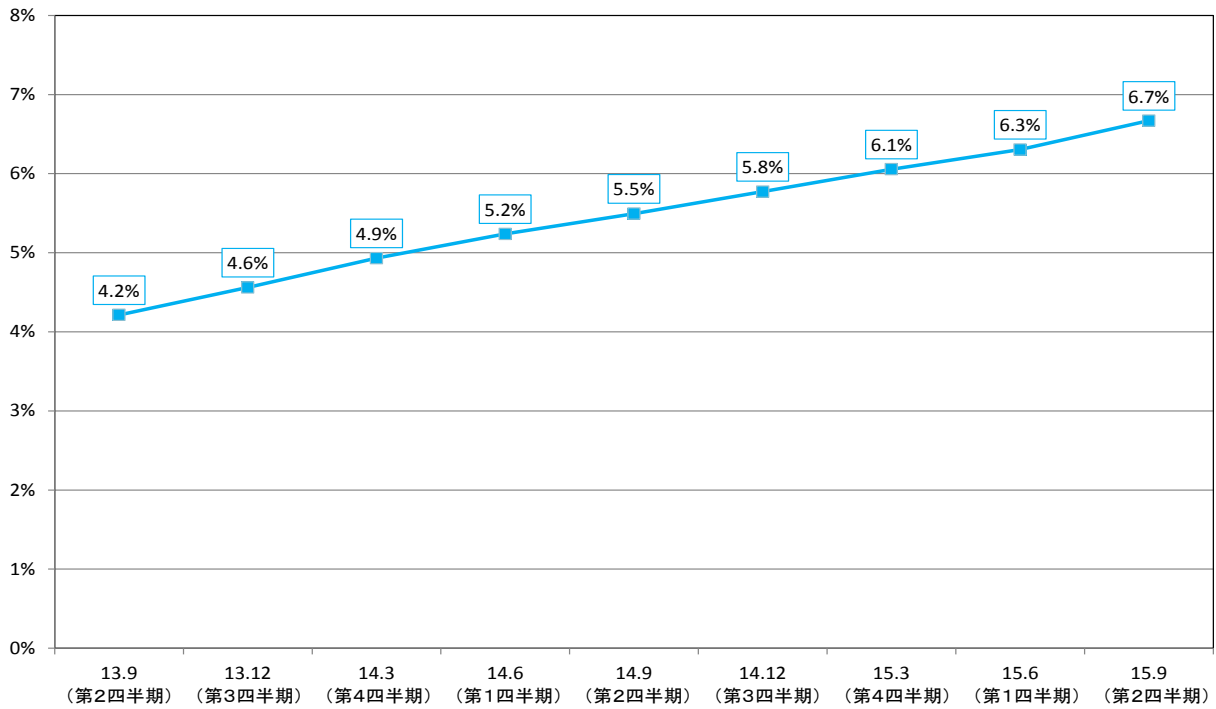
MVNO（MNOであるMVNOを除く）サービスの契約数の推移



MVNO（MNOであるMVNOを含む）サービスの契約数の推移

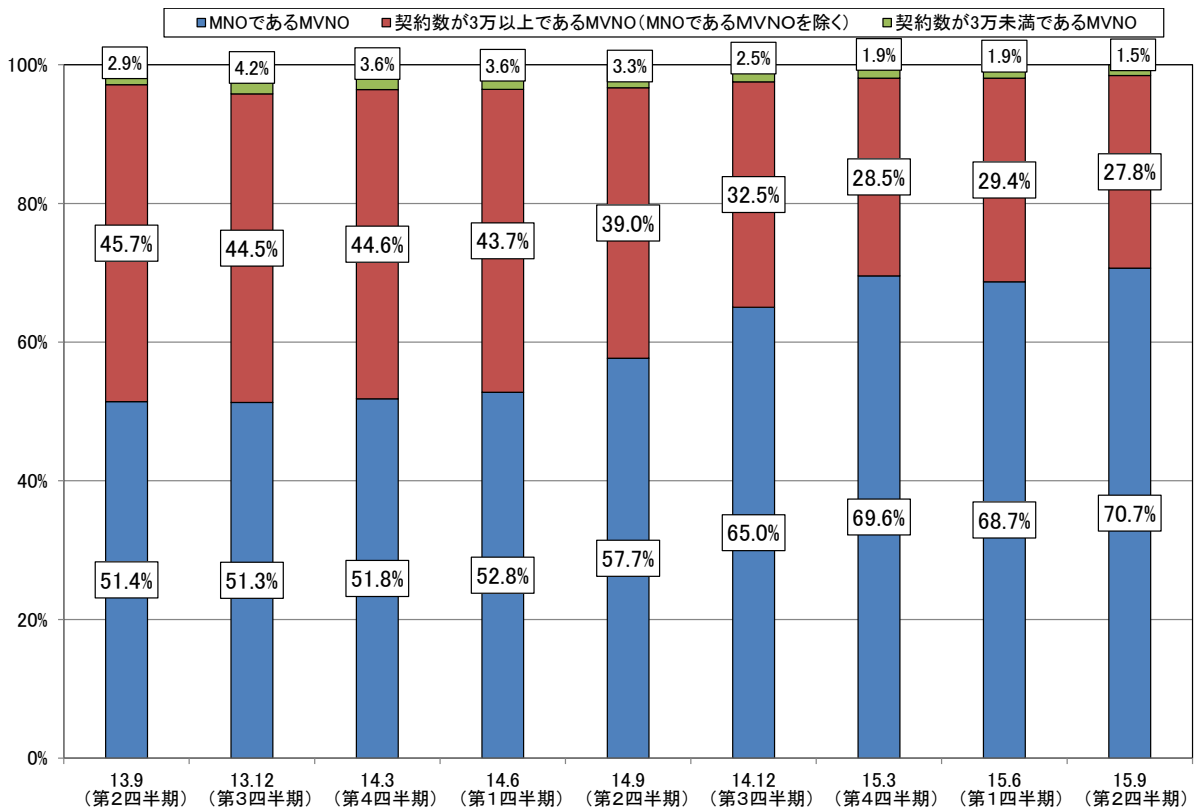


移動系通信の契約数に占めるMVNO（MNOである MVNOを除く）サービスの契約数比率の推移

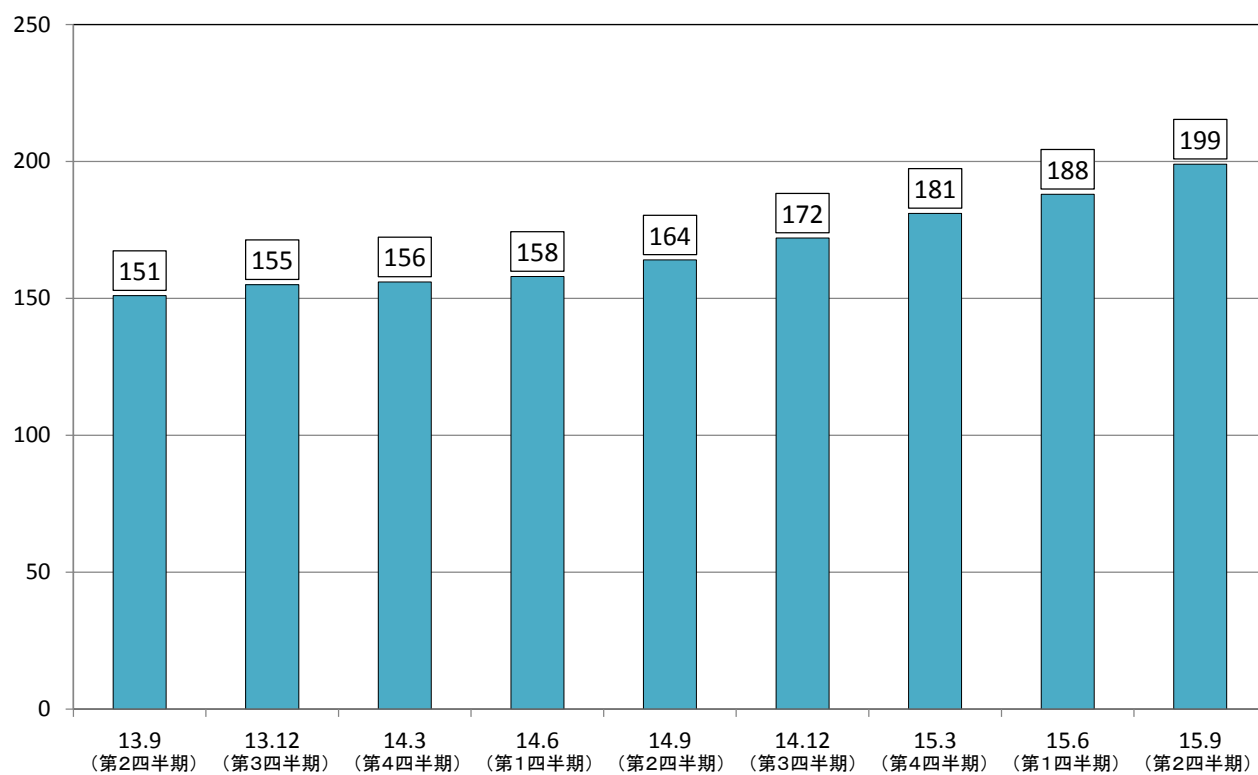


注：契約数比率 = (MVNO (MNOであるMVNOを除く) サービスの契約数) / (移動系通信の契約数)

MVNOサービスの契約数における内訳の推移



MVNO（MNOであるMVNOを除く）サービスの事業者数の推移



2 固定系通信

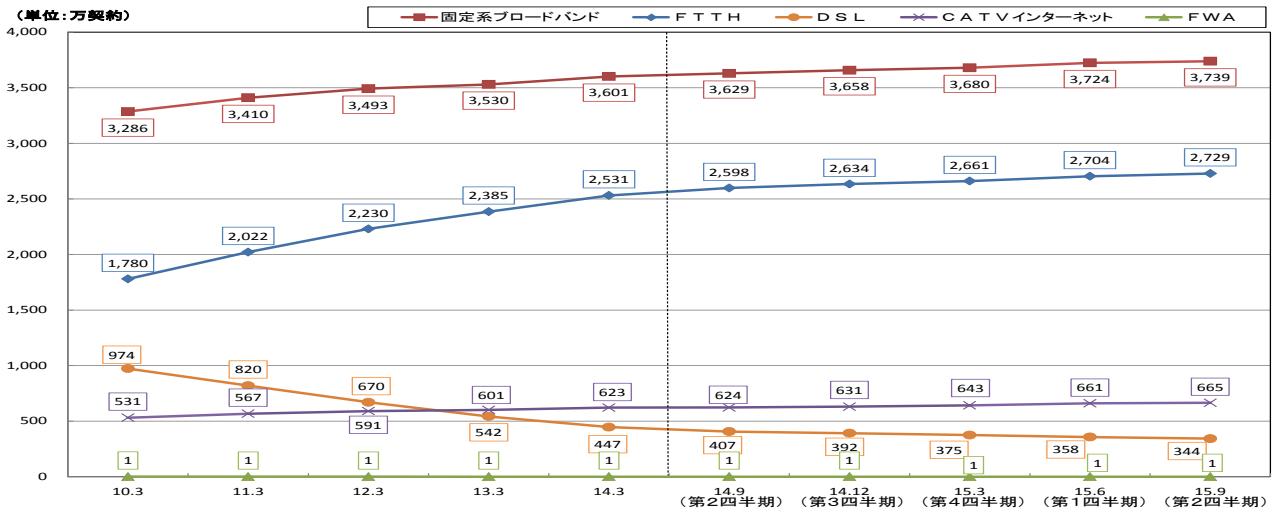
(1) データ通信

① 固定系ブロードバンド

- 固定系ブロードバンドサービス*の契約数は3,739万(前期比+0.4%、前年同期比+3.0%)となっている。
- 固定系ブロードバンドの契約数におけるNTT東西のシェアは、53.9%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)となっている。

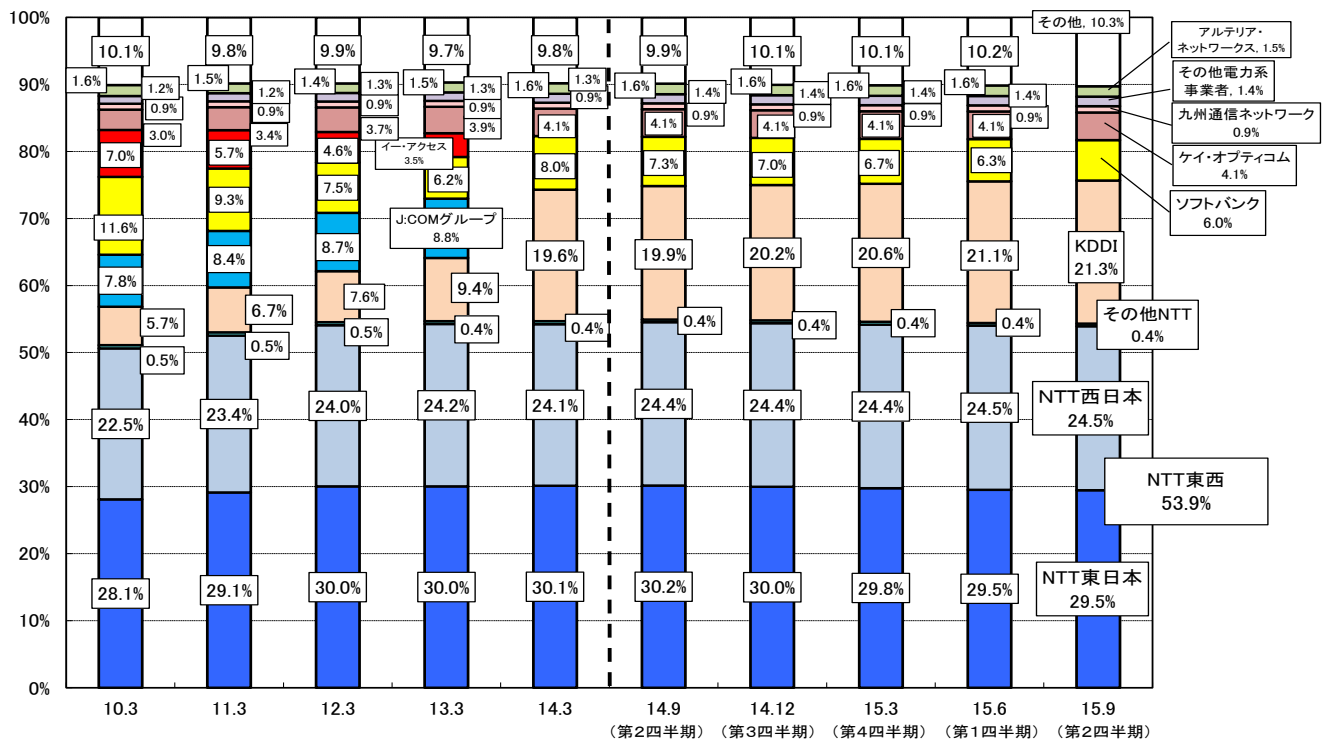
* FTTH、DSL、CATVインターネット及びFWAの合計。

固定系ブロードバンドサービスの契約数の推移



注：事業者報告の修正により、一部の契約数等について修正を行っている。以下この「2 固定系通信」において同じ。

固定系ブロードバンドサービスの契約数における事業者別シェアの推移



注1：この固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAを含んでいない。

注2：その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

注3：KDDIのシェアには、沖縄セルラー、JCN、CTC、OTNet (2009年度第4四半期以降)及びJ:COMグループ (2013年度第1四半期以降)が含まれる。以下この「(1) データ通信」の①及び②において同じ。

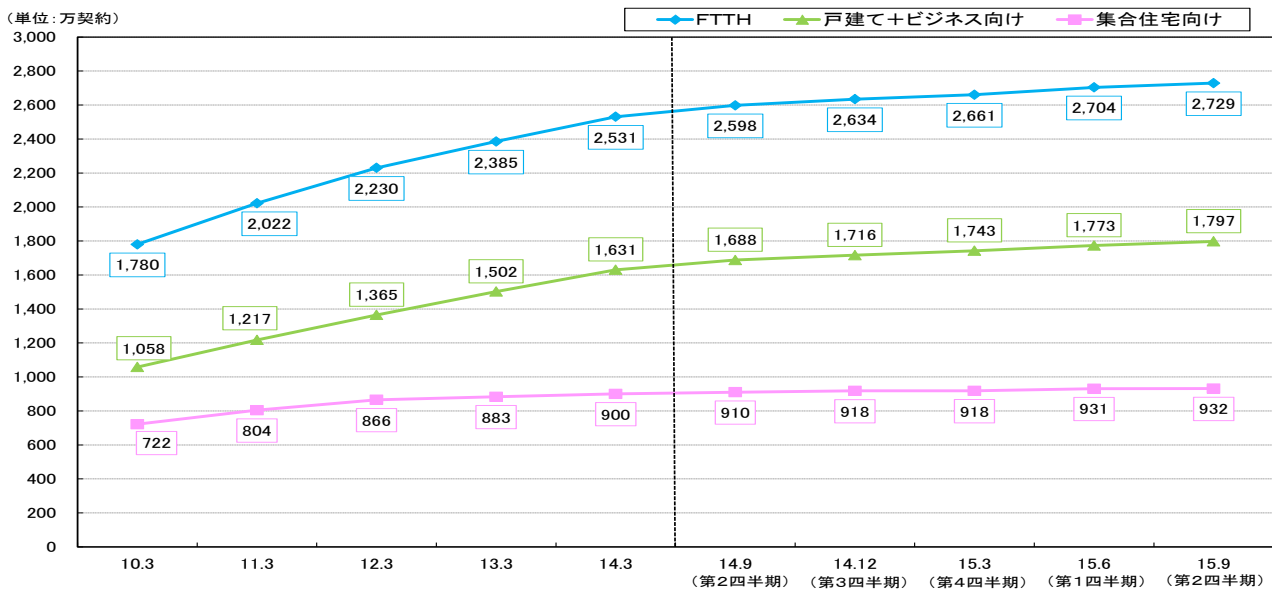
注4：その他電力系事業者のシェアには、北海道総合通信網 (2010年度第4四半期まで)、東北インテリジェント通信 (2009年度第4四半期まで)、北陸通信ネットワーク、STNet、エネルギア・コミュニケーションズ、ファミリーネット・ジャパン及びケイオプティ・サイバーポート (2010年度第4四半期まで)が含まれる。

注5：UCOMは丸紅アクセスソリューションズと合併し、アルテリア・ネットワークスに社名変更 (2013年度第4四半期以降)。以下同じ。

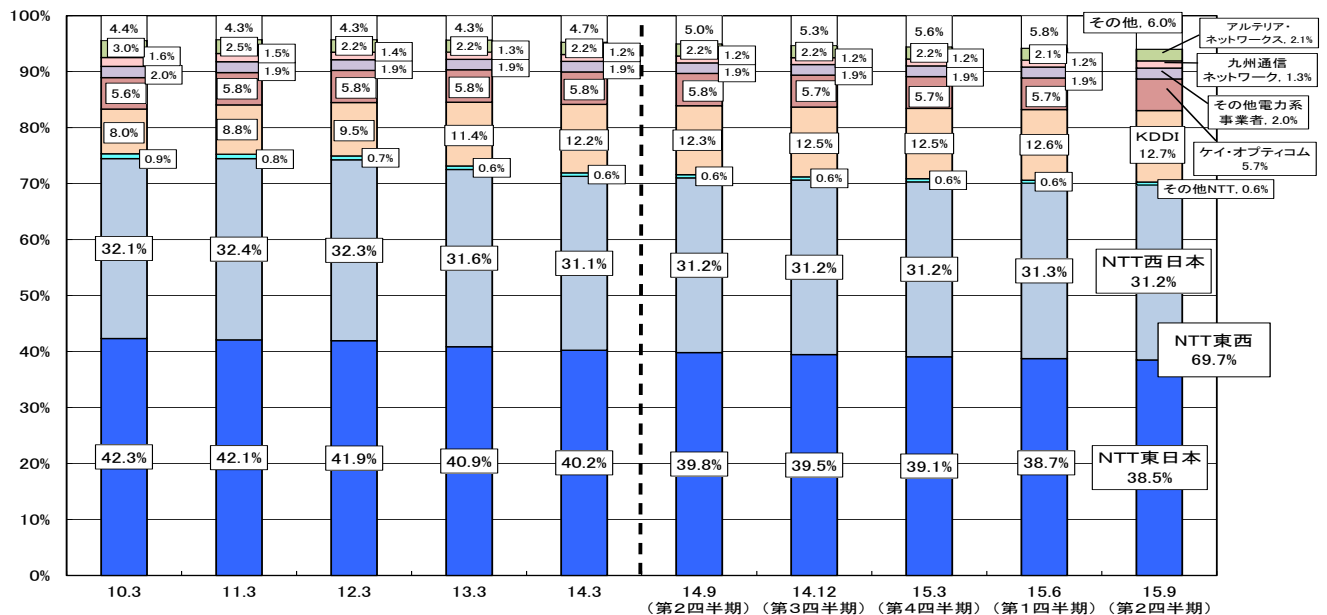
② FTTH

- FTTHの契約数は2,729万(前期比+0.9%、前年同期比+5.0%)となっている。
- FTTHの契約数における事業者別シェアについて、NTT東西は69.7%(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.3ポイント)、KDDIは12.7%(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.4ポイント)、ケイ・オプティコムは5.7%(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)、九州通信ネットワークは1.3%(前期比、前年同期比ともに±0ポイント)、その他電力系事業者は2.0%(前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)となっている。
- NTT東西のシェアについて、FTTH(戸建て+ビジネス向け)は69.8%(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲1.5ポイント)、FTTH(集合住宅向け)は69.7%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.9ポイント)となっている。

FTTHの契約数の推移

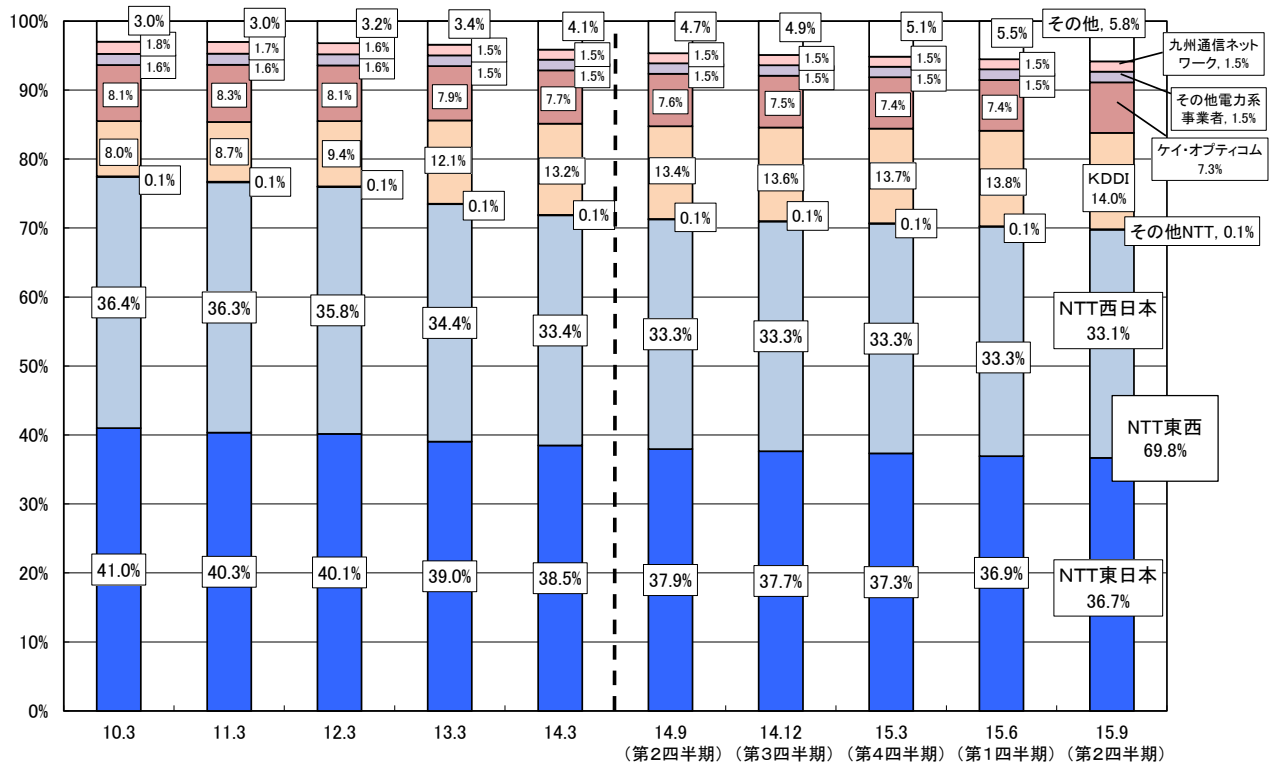


FTTHの契約数における事業者別シェアの推移



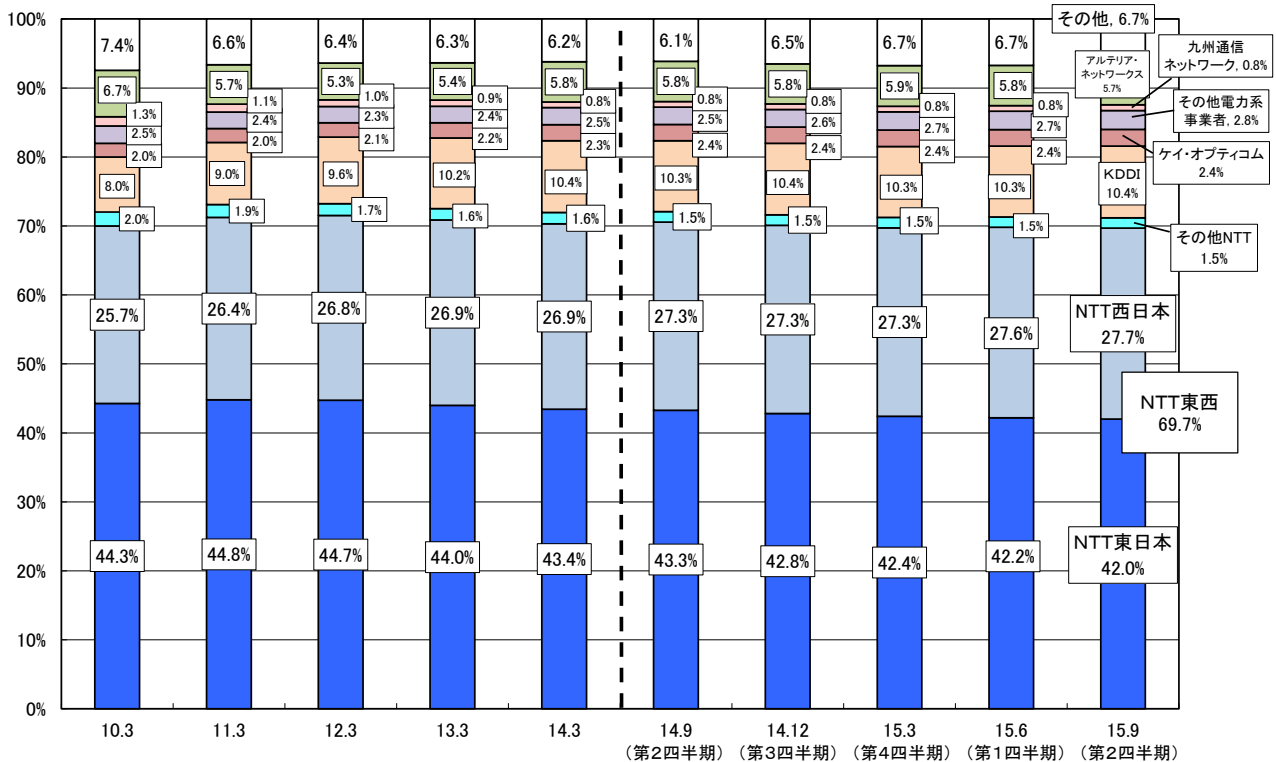
注1: その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。
 注2: その他電力系事業者のシェアには、北海道総合通信網(2010年度第4四半期まで)、STNet、エネルギー・コミュニケーションズ、ファミリーネット・ジャパン及びケイオプティ・サイバーポート(2010年度第4四半期まで)が含まれる。

F T T Hの契約数における事業者別シェアの推移（戸建て+ビジネス向け）



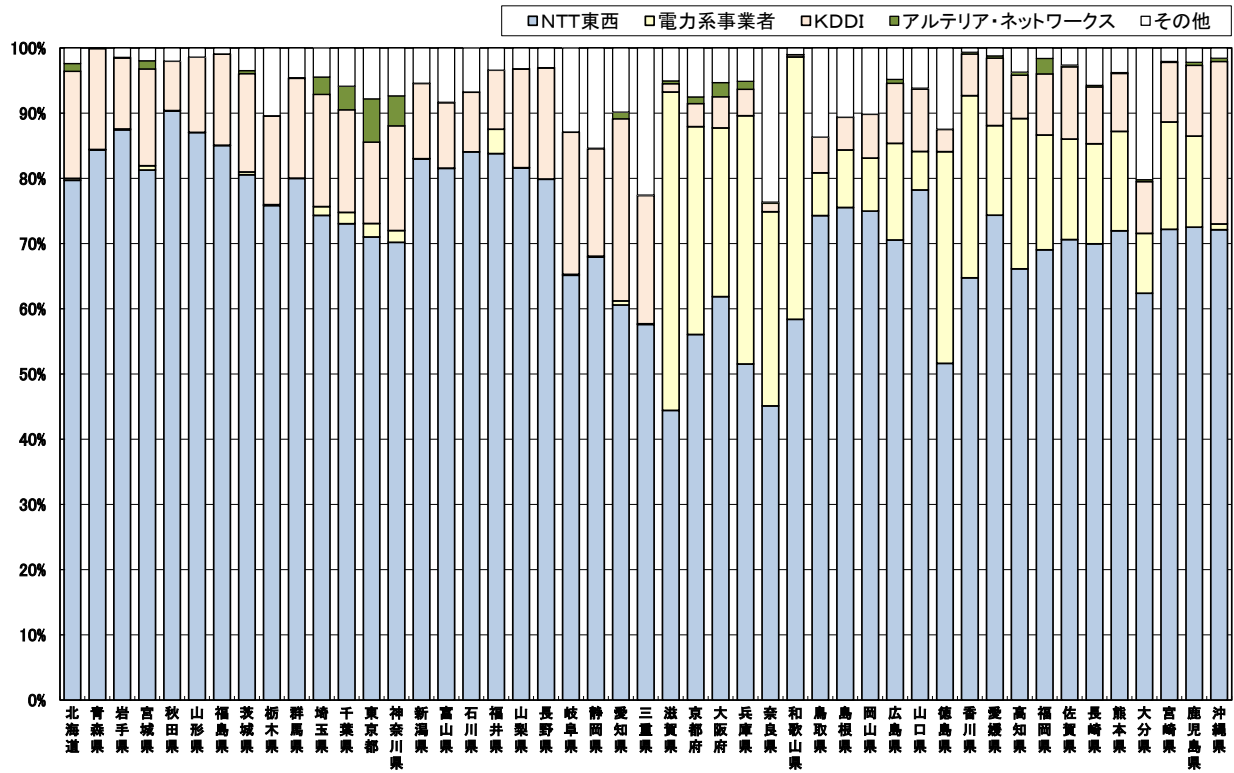
注：その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T Hの契約数における事業者別シェアの推移（集合住宅向け）



注：その他NTTのシェアには、NTT MEDIAS、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。

F T T Hの契約数における都道府県別事業者シェア



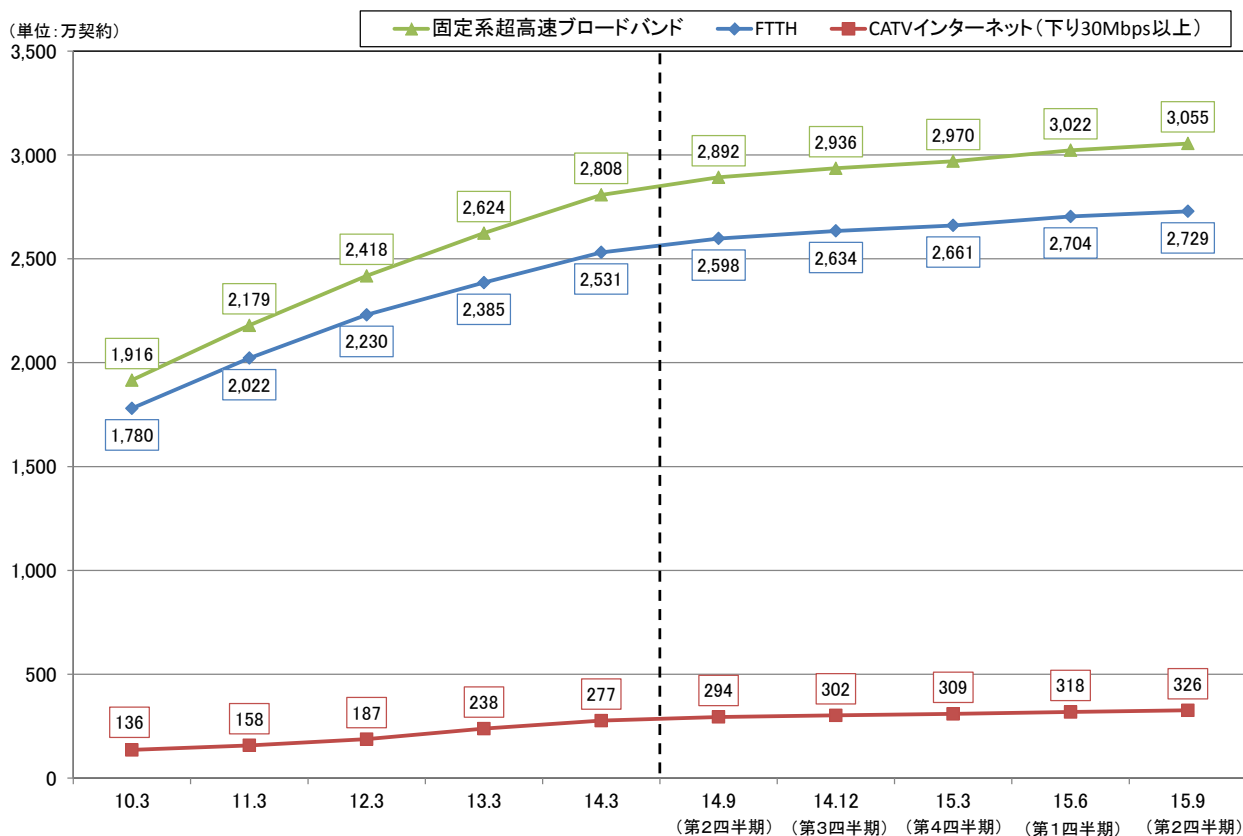
注：都道府県別のシェアについてはグラフのみ公表。

③ 固定系超高速ブロードバンド

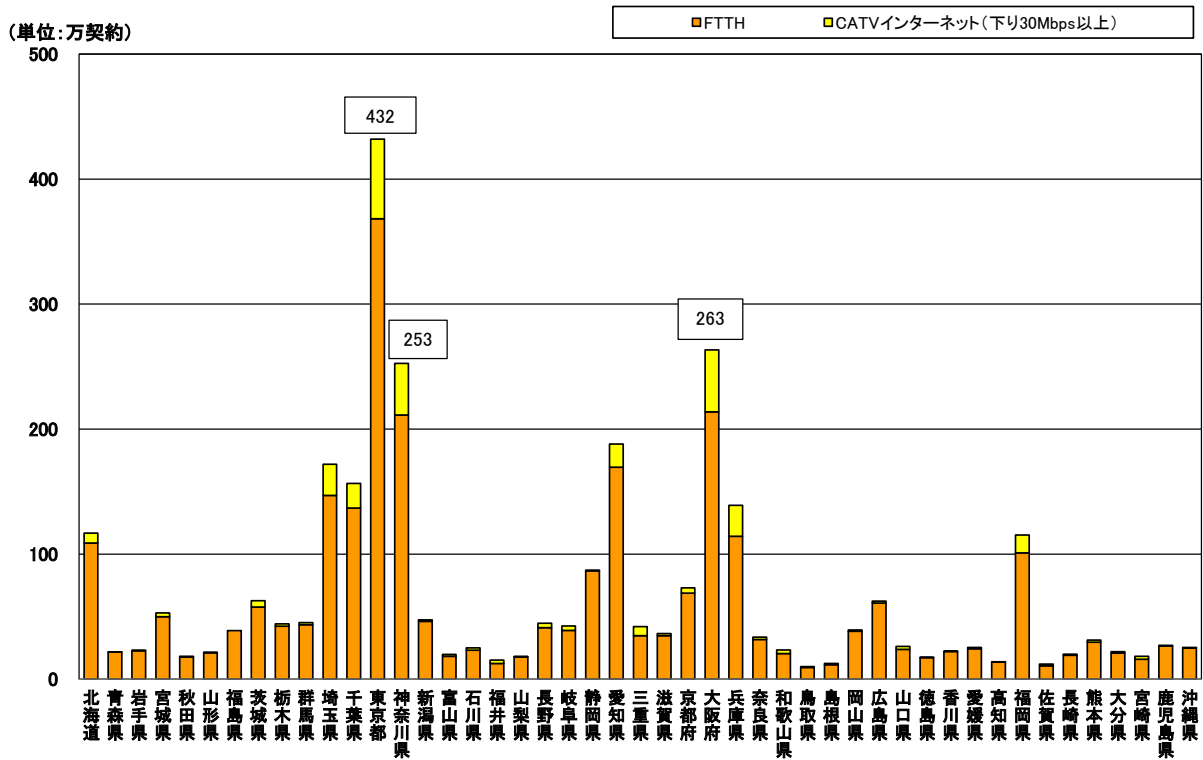
- 固定系超高速ブロードバンドサービス*の契約数は3,055万（前期比+1.1%、前年同期比+5.6%）となっている。このうち、FTTHは2,729万（前期比+0.9%、前年同期比+5.0%）、CATVインターネット（通信速度下り30Mbps以上）は326万（前期比+2.5%、前年同期比+10.9%）となっている。
- FTTHの契約数は全ての都道府県で増加し、CATVインターネット（通信速度下り30Mbps以上）の契約数は6の県で減少している（対前期比）。

※ FTTH及び通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネットの合計。

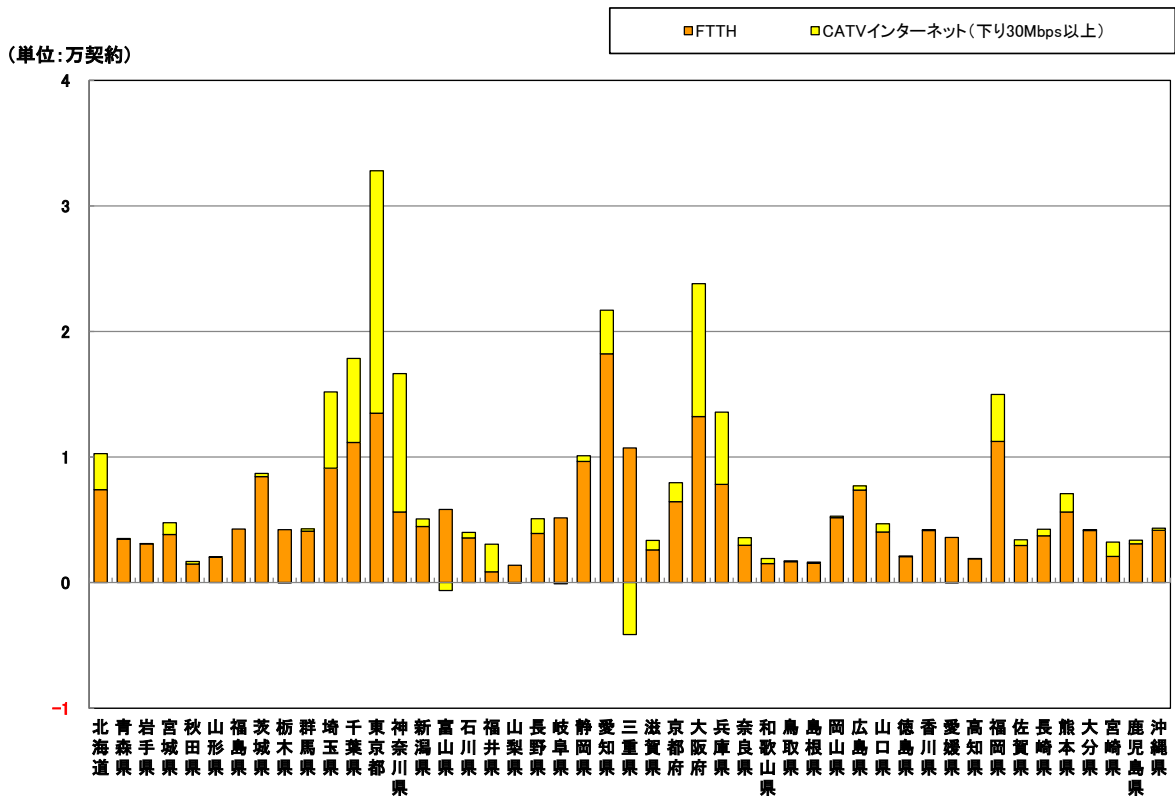
固定系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移



固定系超高速ブロードバンドサービスの都道府県別の契約数



固定系超高速ブロードバンドサービスの都道府県別の純増減数 (対前期比)



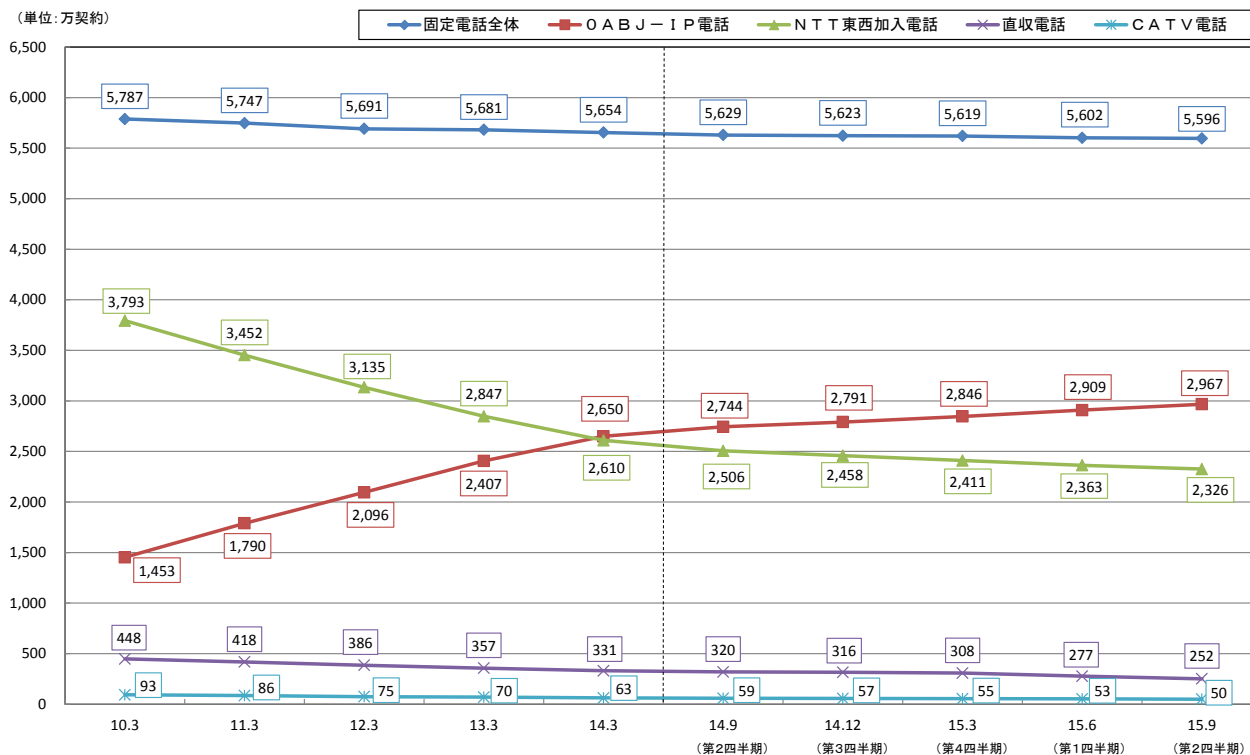
(2) 音声通信

① 固定電話

- **固定電話***の契約数は5,596万（前期比▲0.1%、前年同期比▲0.6%）となっている。このうち、**O A B J - I P 電話**は2,967万（前期比+2.0%、前年同期比+8.1%）、**NTT東西加入電話**は2,326万（前期比▲1.6%、前年同期比▲7.2%）となっている。
- 固定電話の契約数における事業者別シェアについて、**NTT東西**（NTT東西加入電話及びNTT東西O A B J - I P電話の合計）は72.3%（前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲1.7ポイント）、**KDDI**は19.9%（前期比+0.2ポイント、前年同期比+1.0ポイント）となっている。
- **固定電話からO A B J - I P電話を除いた契約数は**、2,628万（前期比▲2.4%、前年同期比▲8.9%）となっている。

※ NTT東西加入電話（ISDNを含む。）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、O A B J - I P電話及びCATV電話を指す。

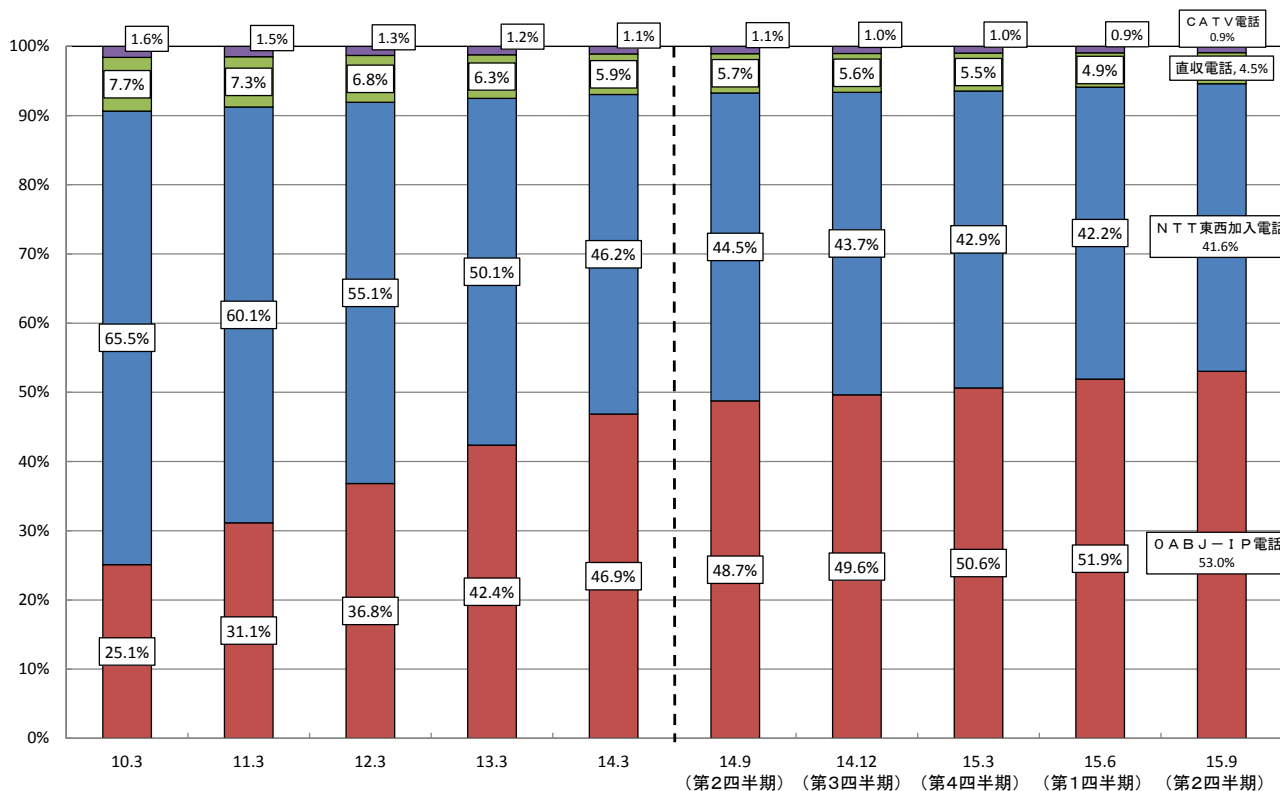
固定電話の契約数の推移



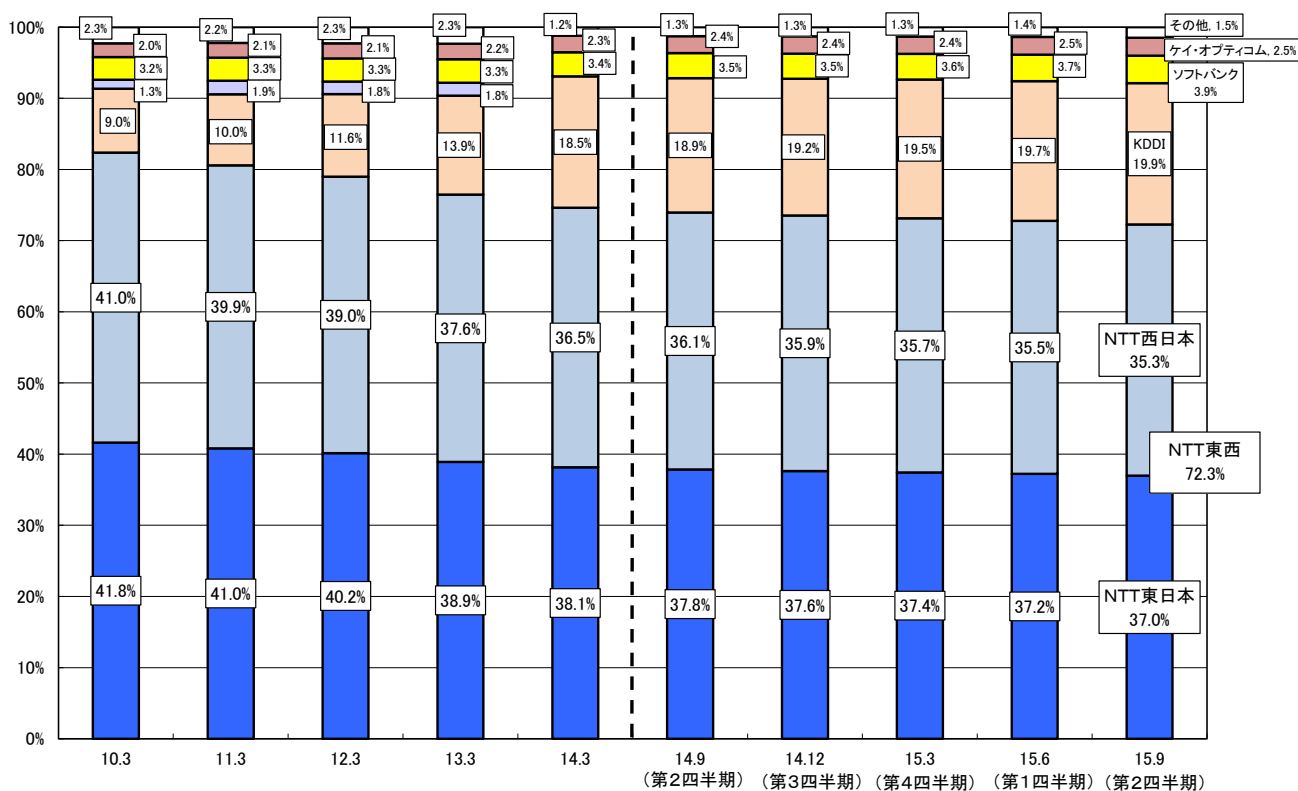
注1：「O A B J - I P 電話」は、利用番号数をもって契約数と見なしている。なお、O A B J - I P 電話はNTT東西加入電話等との代替性が高いため固定電話に加えているが、I P 電話としてもP.15以降に再掲している。

注2：「CATV電話」は、CATV事業者が提供する固定電話サービスのうちアナログ電話を計上している。なお、CATV事業者が提供するI P電話については「O A B J - I P 電話」に計上している。以下同じ。

固定電話の契約数におけるサービス別内訳の推移



固定電話の契約数における事業者別シェアの推移



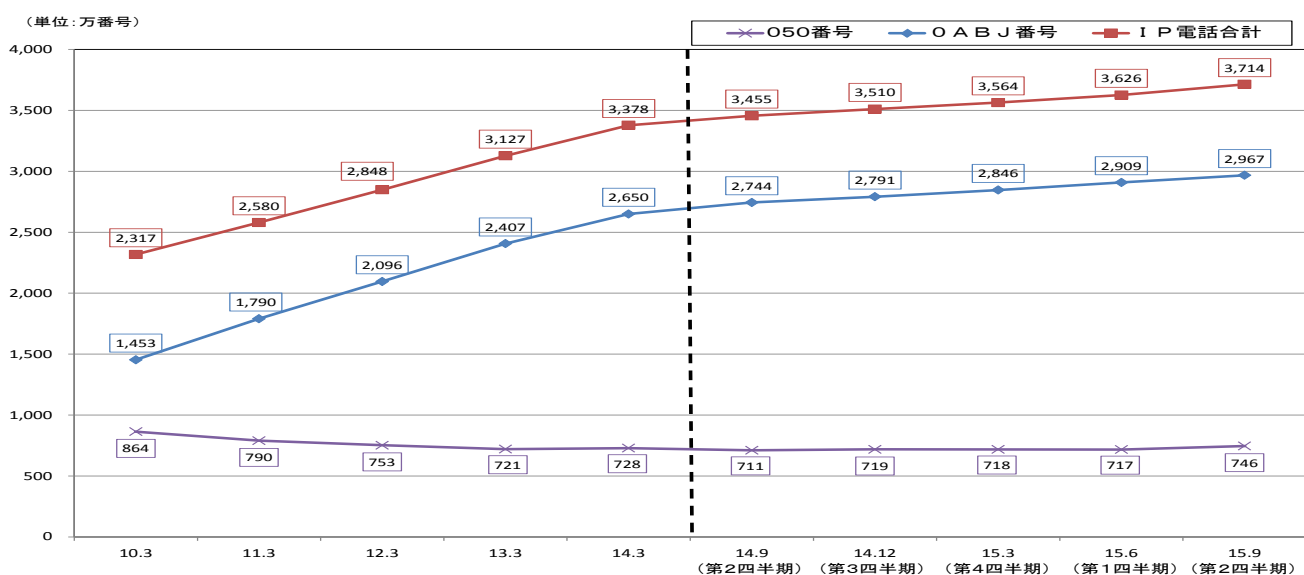
注1：NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む）、OABJ-IP電話の合計を示す。

注2：KDDIのシェアには、CTC及びJ：COMグループ（2013年度第1四半期以降）が含まれる。以下同じ。

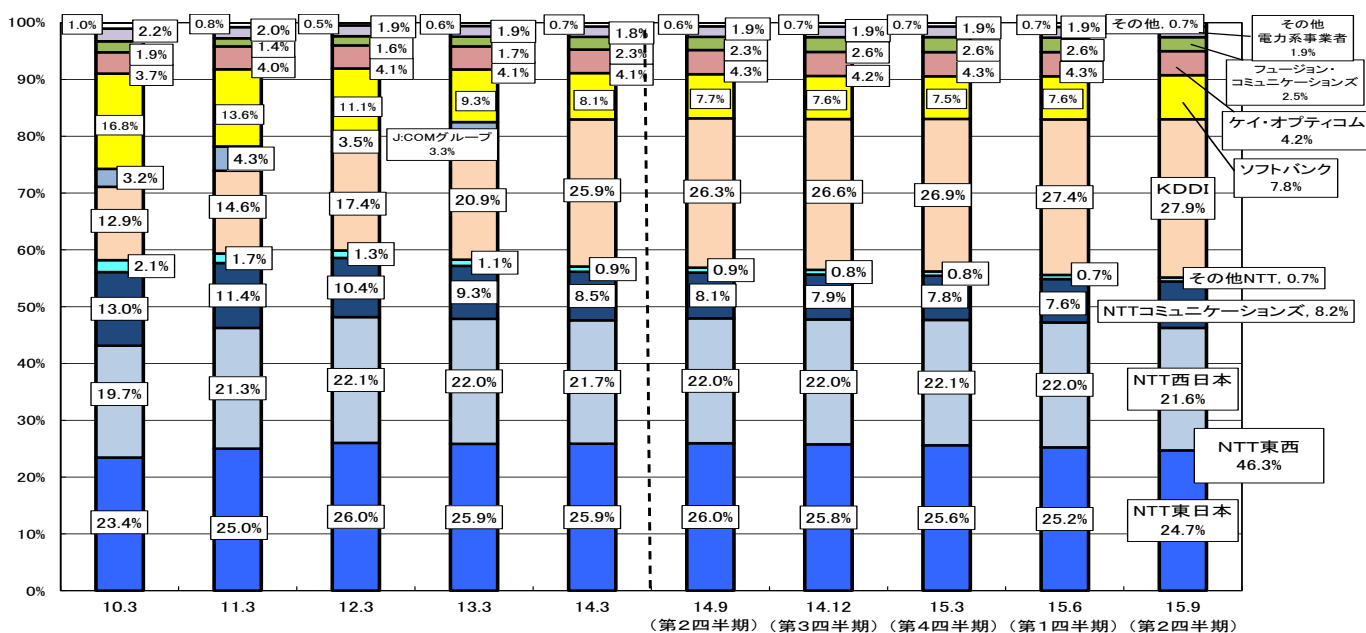
② IP電話

- IP電話の利用番号数は3,714万（前期比+2.4%、前年同期比+7.5%）であり、このうち、OABJ番号の利用数は2,967万（前期比+2.0%、前年同期比+8.1%）、O50番号の利用数は746万（前期比+4.1%、前年同期比+4.9%）となっている。
- OABJ番号の利用数における事業者別シェアについて、NTT東西は57.9%（前期比▲1.0ポイント、前年同期比▲2.5ポイント）、KDDIは33.1%（前期比+0.6ポイント、前年同期比+1.8ポイント）となっている。
- O50番号の利用数における事業者別シェアについて、NTTコミュニケーションズは39.9%（前期比+1.7ポイント、前年同期比+1.0ポイント）、ソフトバンクは32.9%（前期比▲0.6ポイント、前年同期比▲1.5ポイント）となっている。

IP電話の利用番号数の推移

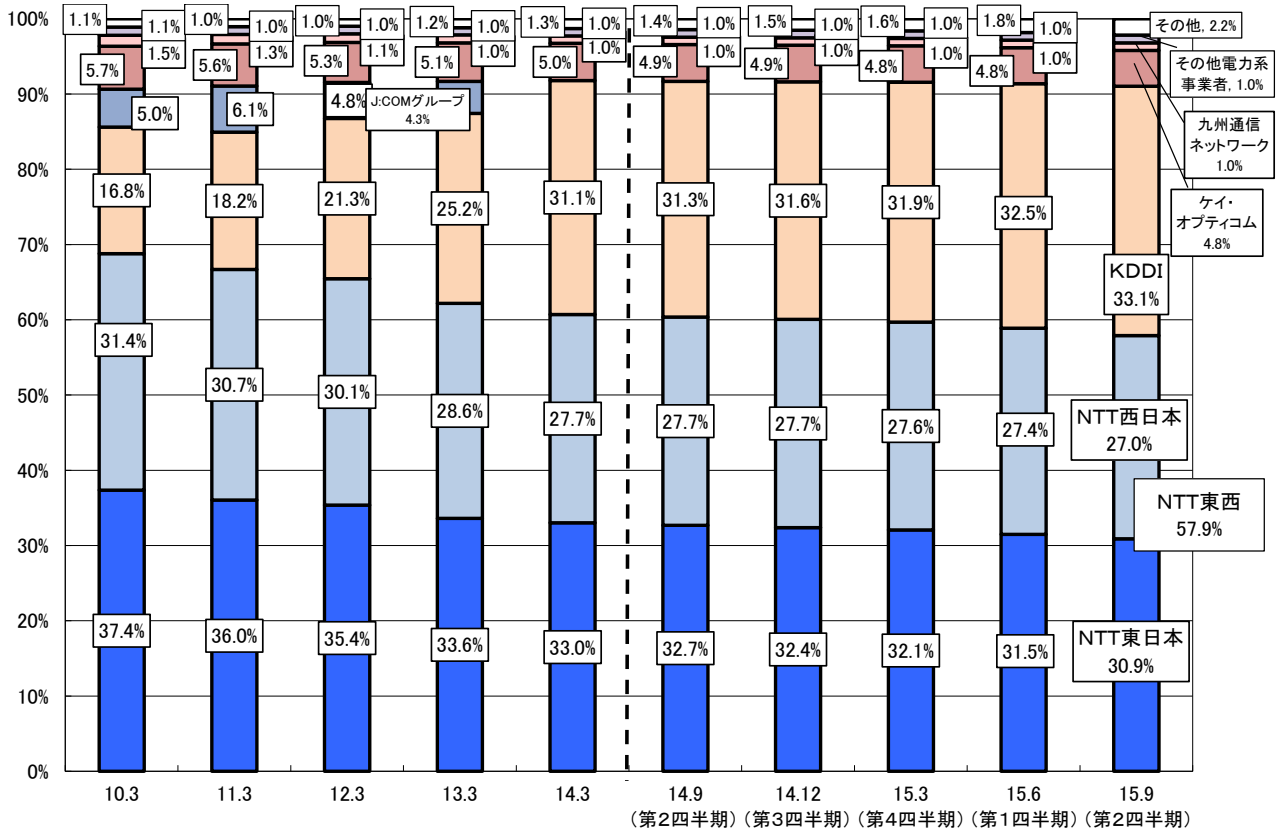


IP電話の利用番号数における事業者別シェアの推移（全体）



注：その他NTTのシェアには、NTTぷらら、NTT-ME、NTTネオメイト、NTTPCコミュニケーションズ及びNTTドコモが含まれる。以下同じ。

IP電話の利用番号数における事業者別シェアの推移（0ABJ番号）



IP電話の利用番号数における事業者別シェアの推移（050番号）

